

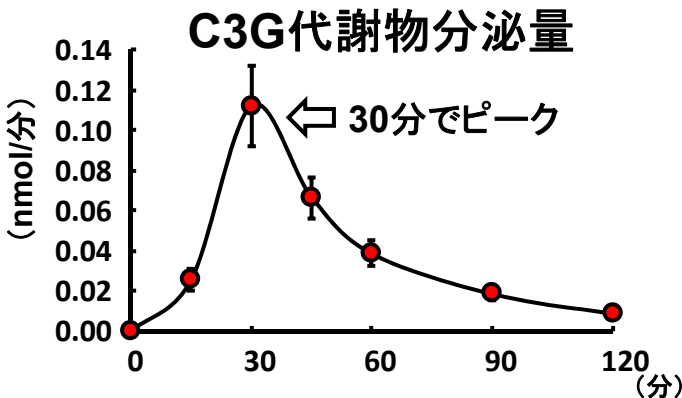
アントシアニンは中性脂肪排出を促進する

技術の特徴

- ・食品中の代表的なアントシアニンであるシアニジン-3-グルコシドをラットに投与したところ、投与後30分でシアニジン-3-グルコシド代謝物および中性脂肪の胆汁への排出のピークが見られた。
- ・肝臓への脂質の蓄積は肝機能障害の危険因子であるが、シアニジン-3-グルコシド投与により、投与後120分目に測定した肝臓脂質含量は有意に低下した。

研究の内容

シアニジン-3-グルコシド (C3G)



アントシアニンの一種で、ブドウや黒豆に含まれる赤～紫色を示す色素

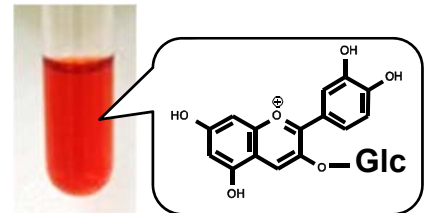


図1 シアニジン-3-グルコシド(C3G)投与後のC3G代謝物の胆汁中排出量

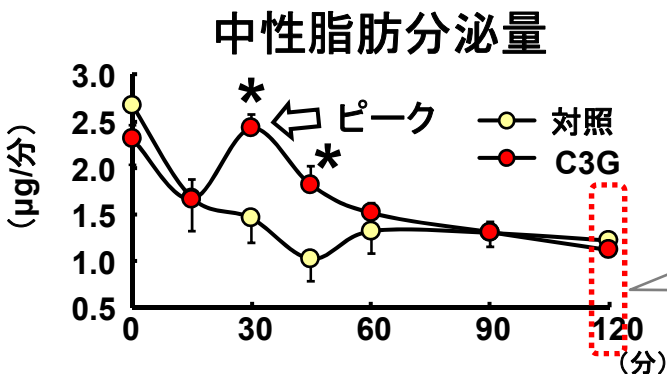


図2 シアニジン-3-グルコシド(C3G)投与後の中性脂肪の胆汁中排出量 (*: 対照と比較して差がある)

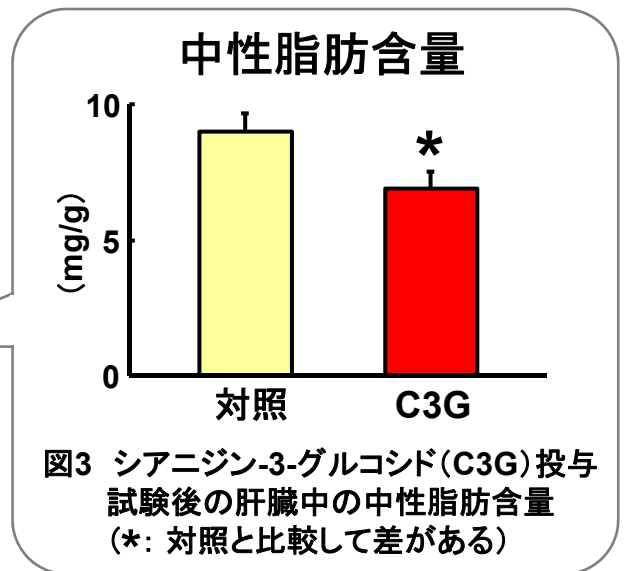


図3 シアニジン-3-グルコシド(C3G)投与試験後の肝臓中の中性脂肪含量 (*: 対照と比較して差がある)

今後の展開

アントシアニンを長期的に投与することで、肝臓脂肪の蓄積を抑制できるかを検証していく。

参 考

Hashimoto N. et al. *Nutr Res.* 38: 34-42 (2017)



農研機構
食品研究部門

代表研究者: 橋本直人
所 属: 食品健康機能研究領域
機能成分解析ユニット
問合わせ先: 交流チーム: 029-838-7980